

暦の上では立春、春が近づいてきました。春になったら、ぜひ、新しいことにチャレンジしてみたいものですね。とはいえ、まだまだ寒さが続きます。風邪をひかないようお気づけください。

アイ・ドラゴン4って？



手話番組を24時間見放題！
手話や字幕のない番組にリアルタイムで情報保障！
緊急災害時にニュースに情報保障！

「目で聴くテレビ」を視聴するために必要な機器「アイ・ドラゴン」。

阪神大震災のとき、聴覚障がい者にとって唯一の情報源である手話ニュースが安否確認の番組放送のため休止となり、その時、聴覚障がい者に常に情報を伝える放送が必要だということで誕生したのが「CS 障害者放送統一機構」です。

手話や字幕による番組制作をはじめ、緊急災害情報を手話や字幕で速やかに放送することになっています。また、緊急災害があったときには、テレビが消えていても、フラッシュランプでテレビ視聴を促すお知らせする機能もついています。

平成31年4月からは、CSによる放送がすべてインターネット回線を利用したIPTVに切り替わります。メリットは、放送時間に関係なく、いつでも見たい時に番組を視聴できるようになったことです。

聴覚障がい者情報センターでも、「アイ・ドラゴン4」が設置されています。視聴もできますので、お越しください。

障がい者週間イベントを開催しました

☆ろう者による写真展～自然と山に惹かれて～



平成30年12月1日（土）～16日（日）まで、センター内で相澤英人さん（安曇野市）と岡村和人さん（佐久市）のご

協力で写真展を開催しました。お二人とも、休日はカメラをもって撮影に出かけるほど、写真が好きな方です。自然と山をテーマにした作品を中心に展示しました。絶えずに変化する自然の

一瞬を切取った美しい本格的な写真をご覧になったお客様から「どれもきれいで迫力があって感動した」の感想をたくさんお寄せいただきました。写真展には合計512人の来場がありました。



☆補聴器相談会

平成30年12月8日（土）、センターロビー内で補聴器に関する相談会を開催しました。高齢で聞こえにくくなってきたが、補聴器を装用したほうがよいか迷っているという方などのご相談が多く、「病院や店ではなく、気軽に相談できて良かった」という感想もあり、今後も同様な相談会を開催していきたいと思えます。

人工内耳利用者の体験を聴く

平成31年1月20日（日）、サンアップル1階ホールで「人工内耳とともに～京大大学院で研究をしています」のテーマで体験を聞く会が開かれました。講師の福井さんから、幼少時に人工内耳装用してから京大大学院で研究している現在までのおいたち、ろう学校での発音指導やインテグレーションした小・中学校でのこと、大学での情報保障などについてもお話いただきました。人工内耳の聞こえ方や現在の高等教育現場での情報保障について福井さんの体験や考えを話していただきました。人工内耳を装用しているお子さんの保護者や学校関係者などたくさんの参加がありました。

動画をご覧ください

高田英一さんの原点は？

全日本ろうあ連盟で長い間活躍されてきた高田英一さんに、高田さんの活動の原点となるものについて、また長野県とのかかわりについてお聞きしました。

